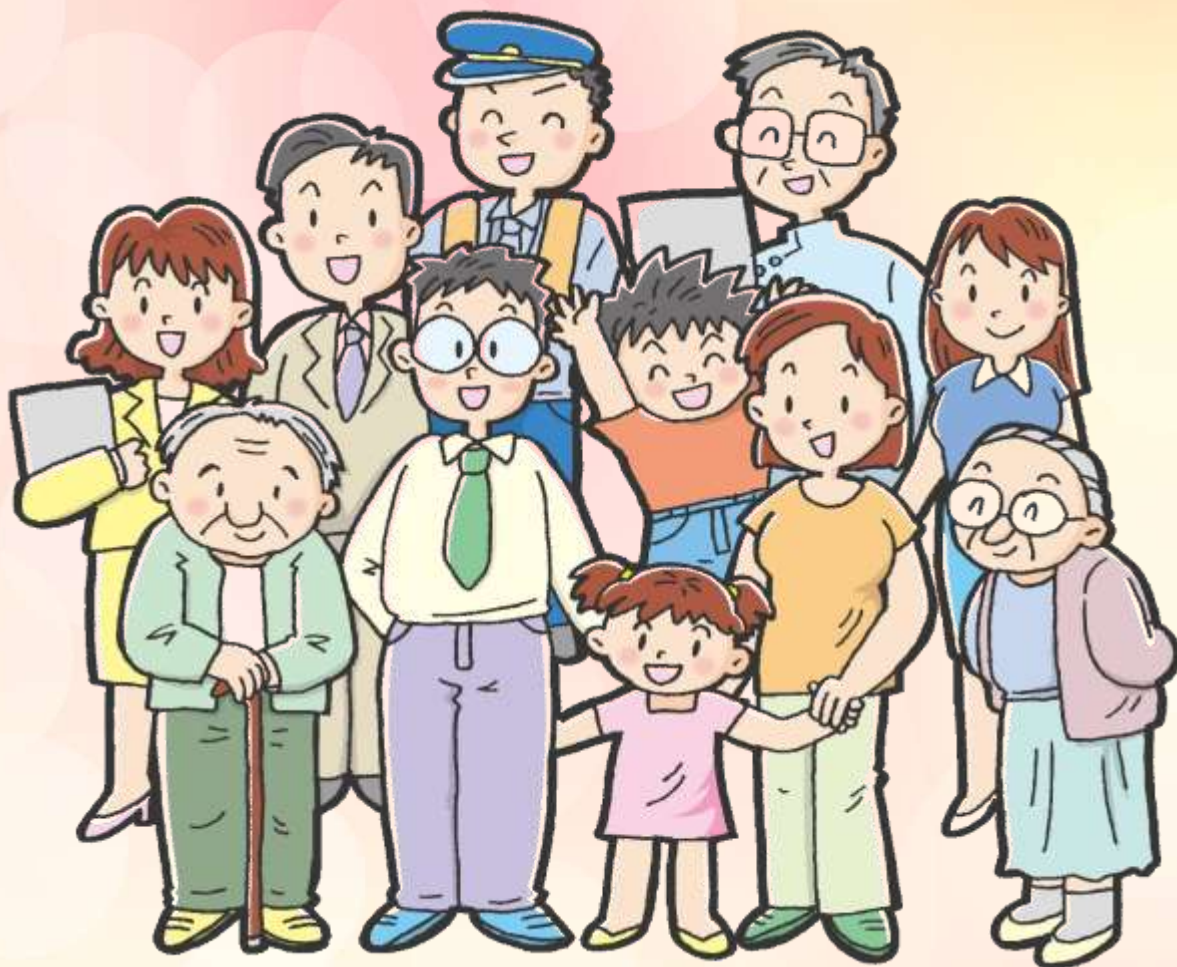


住民発！

小石・赤崎校区小地域福祉活動第一次計画

優しさあふれる住み良いまち 小石・赤崎



小石・赤崎校区では、皆さんが現在も、そしてこれからも安心して暮らしていただける地域づくりのために、地域の関係者で話し合っ、「優しさあふれる住み良いまち 小石・赤崎」を理念とする2024年から2028年までの5年間の計画を作成しました。目標やその達成に向けた取り組みが掲載されていますので、是非ご一読ください。



小石・赤崎校区社会福祉協議会

ごあいさつ

小石・赤崎校区は、若松区の北部に位置し、地域には史跡や遺跡、また北九州エコタウンや響灘ジオトープなどがあり、古い歴史と新たな環境拠点を持ち合わせた地域です。

さらに地域内には小石小学校と赤崎小学校、2つの小学校区、また西14区と東中14区の2つの自治区を抱えています。

現在は伝統文化である小石ちょうちん山笠や、子ども達に福祉の心を学んでもらうウェルクラブ活動など、他地区にも誇れる様々な活動を地域の皆さんの協力をいただきながら、精力的に実施しています。

しかし、40%を超える高齢化率や、スーパーなどの生活施設、ダイヤ改正に伴う市営バスの本数減少など、現在やこれからの困りごとを考えると、これからの地域福祉活動の充実のため、この「住民発！小石・赤崎校区小地域福祉活動第一次計画」を策定し、地域の皆様のご理解、また方針を共有することで、各種団体との連携に繋げることが大事であると考えました。

最後になりましたが、この計画の策定にあたりご尽力・ご協力いただきました全ての皆様に感謝申し上げます。

ありがとうございました。

小石・赤崎校区福祉協議会
会長 柿内 よし子



もくじ

ごあいさつ ……1P

第1章 計画策定にあたって ……2P

- 1 計画の性格
- 2 計画の期間
- 3 計画の策定経過

第2章 小石・赤崎校区の現状と課題 ……3P

- 1 地域社会の動向
- 2 地域の福祉課題

第3章 計画体系 ……4P

- 1 基本理念
- 2 基本目標
- 3 実施項目（体系図）
- 4 重点実施項目

第4章 計画の推進 ……7P

- 1 計画の承認と周知
- 2 計画を推進するための体制
- 3 第2次計画の策定

参考資料 ……8P

第1章 計画策定にあたって

1 計画の性格

(1) 住民発信の行動計画

小石・赤崎校区の様々な福祉課題を解決するために、地域住民・諸団体等が将来の見通しを持ち計画的に活動しようとするための行動計画です。

(2) 小地域の生活を支える計画

小石・赤崎校区に住む人たちの「生活」を支えることを活動の基本とする計画です。

(3) 北九州市及び北九州市社会福祉協議会と連携する計画

北九州市及び北九州市社会福祉協議会の計画と連携しながら、地域福祉活動を進めていく計画です。

(4) 小石・赤崎校区の活動指針となる計画

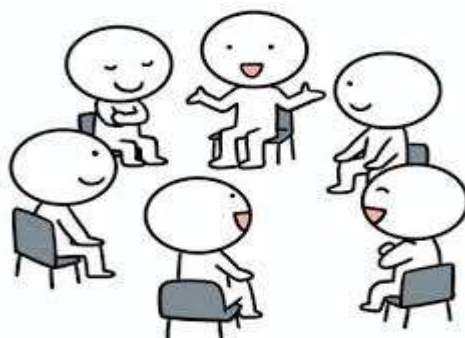
社会福祉協議会が地域福祉推進の中核的な団体としての方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有します。

2 計画の期間

令和6年度から令和10年度の5ヵ年とします。また期間中に地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直します。

3 計画の策定経過

北九州市社会福祉協議会若松区事務所が主催した「地域の未来づくり講座」において、研修に参加した校区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、自治会役員のメンバーで地域の長所、課題、今後必要な活動について話し合いを行いました。そのまとめを基に体系図(案)を作成し、地域関係団体の役員を中心とした話し合いで概要を決定し、詳細は活動者にも共有して意見をいただきつつ修正を行い、令和6年3月に計画を策定しました。



第2章 小石・赤崎校区の現状と課題

1 地域社会の動向

小石・赤崎校区データ

令和5年9月30日現在

人 口	8,610人	幼 稚 園	小石幼稚園
世 帯 数	4,716世帯	小 学 校	小石小学校 赤崎小学校
		中 ・ 高 校	向洋中学校 若松高校
高 齢 化 率	40.2%	市民センター・公民館	赤崎市民センター 小石公民館 西14区公民館
一人暮らし高齢者数	753人	地域包括支援センター	若松1
高齢者のみ世帯	655世帯		
地 域 内 の そ の 他 社 会 資 源 等	【生活関連】 セブンイレブン小石店 【医療関連】 こが医院、かじわら歯科医院、さいとう&さめしまクリニックなど 【福祉関連】 介護老人福祉施設 あじさい、介護老人保健施設けやき、 グループホームデイサービスセンター けやきの杜、インクル若松など 【その他】 菖蒲谷キャンプ場		

小石・赤崎校区は、若松区の北部に位置し、地域には史跡や遺跡、また北九州エコタウンや響灘ビオトープなどがあり、古い歴史と新たな環境拠点を持ち合わせていること。また2つの小学校区と自治区といった特徴が異なる地区を抱えていることが特徴です。

後者の特徴から、支援が必要な方を見守るふれあいネットワーク活動、小学校4年生を対象に、福祉について学び、体験することで心を育むウェルクラブ活動などの地域福祉活動は、全体でやり方や内容を統一するのではなく、方針は共有し、内容はそれぞれの地区に任せて取り組む形で実施しています。

2 地域の福祉課題（および小地域福祉活動の課題）

区内でも高齢化率が高いため、地域でも困りごとを抱える高齢者の方も増えていく一方で、見守りなどの活動をされている方の年齢層も高くなってきており、体制や活動の維持が難しくなっている現状です。そのため、次世代育成や確保、また負担を少なくするための活動の在り方の検討が求められています。

さらに地域内にはスーパーが無く、近隣地区へ移動して買い物を行う方も多い一方で、公共交通機関である市営バスの本数が減ってきており、買い物に困る方が出てくるなどの生活上の困りごと、先に述べた高齢化率の高さもあり、今後増えていくことが予想されます。

第3章 計画体系

1 基本理念 「優しさあふれる住み良いまち 小石・赤崎」

小石・赤崎校区では、今後は誰もがこの地域で安心・安全な生活を送れること、そのために子どもからお年寄りまで、みんなの優しい心を育てていくことを目指し、上記を計画の理念（今後の目指すべき姿）とし、これからの計画を推進していきます。

2 基本目標

(1) 安心して暮らせる地域づくり（安心・安全に関すること）

- ・防犯、防災活動
- ・安全パトロール
- ・環境美化活動
- ・生活の困りごと支援
- ・相談窓口の周知

といった活動を通じ、皆さんが安心して生活できる地域づくりを目指します。



(2) 心や愛着を育む住民間のつながり（交流・健康などに関すること）

- ・ウェルクラブ活動の継続・充実
- ・地域の居場所 サロン活動の展開
- ・健康推進（ラジオ体操など）の実施
- ・特定検診受診率の向上
- ・高齢者への配食活動（西14区）
- ・小石ちょうちん山笠の継続
- ・高齢者などを対象にした日帰りバスハイク
- ・年末年始の餅つき、しめ縄づくり

といった活動を通じ、人と人とのつながりを通じた地域への愛着や、思いやり・優しい心の育みを目指します。



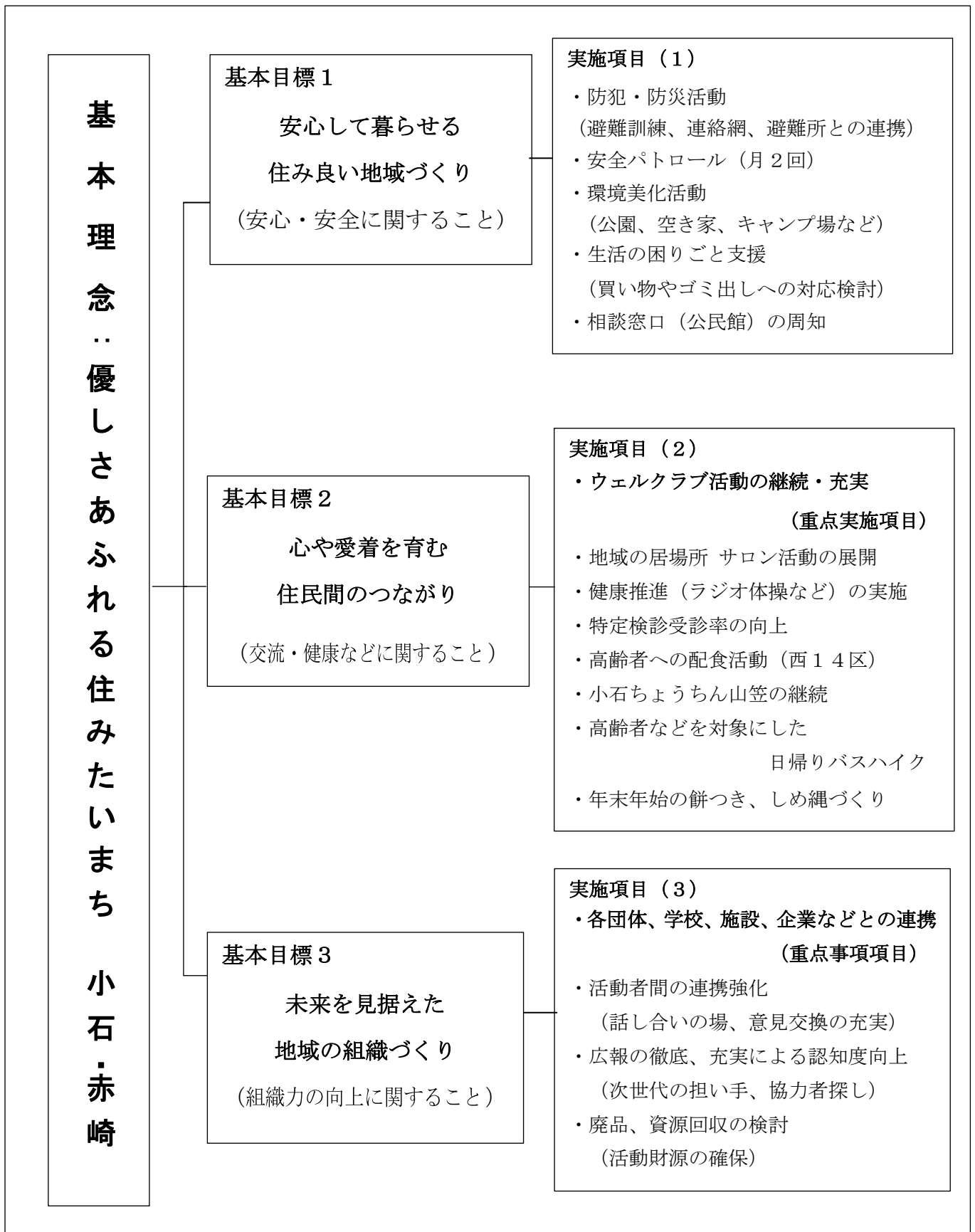
(3) 未来を見据えた地域の組織づくり（組織力の向上に関すること）

- ・各団体・学校・施設・企業などとの連携
- ・活動者間の連携強化
- ・広報の徹底・充実による認知度向上
- ・廃品、資源回収の検討

といった活動を通じ、様々な面での組織力の向上を図り、体制維持や充実を目指します。



3 実施項目（体系図）



4 重点実施項目

重点実施項目 1	ウェルクラブ活動の継続・充実
-----------------	-----------------------




1 課題背景

小石・赤崎校区では、昔から学校や施設と連携したウェルクラブ活動を実施している。活動者の高齢化に伴う負担感や、理解ある学校・施設職員が交代しても問題なく続けられる体制づくり、また参加した子どもたちをどう地域と結び付け、愛着を育んでいくかを課題に感じている。

2 活動の方針・目標

活動者の負担に感じる点を洗い出し、負担を少なくする方法を検討する。また事前の協議や事後の振り返りなどを通じ、連携の強化や更なる充実を図る

3 段階的な取組みの年次計画

取り組み内容	連携する機関	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	備考
関係機関と連携したウェルクラブ活動の見直し、更なる充実	・小石、赤崎小学校 ・地元施設						出てきた課題などは翌年度の解消に努める。
計画の修正・見直し	・推進委員会						特に中間（3年次）と更新（5年次）は重点的に行う。

重点実施項目 2	各団体、学校、施設、企業などとの連携
-----------------	---------------------------







1 課題背景

区内でも高い高齢化率であり、様々な諸問題が表出している。今後の事も考えると、既存の連携をさらに強化しなければ、体制の維持や活動が制限されてしまう危惧がある。

2 活動の方針・目標

地域の活動を整理し、それぞれの強みを活かした取り組みや地域参加の在り方について関係者間で協議し、体制を整える。

3 段階的な取組みの年次計画

取り組み内容	連携する機関	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	備考
防災に関する協議	・自治会 ・まち協 ・地元施設						・特に避難所となりうる施設との連携強化を図る
行事に関する協議	・自治会 ・まち協 ・地元企業 ・地元施設 ・小石、赤崎小学校 ・向洋中学校						・既に協力が無いと厳しいもの。また同時開催することで、さらに充実や参加者が見込めるものなど
計画の修正・見直し	・推進委員会						特に中間（3年次）と更新（5年次）は重点的に行う。

第4章 計画推進

1 地域への計画の承認と周知

- (1) 校区社会福祉協議会総会等を通じた社会福祉協議会活動者への計画の承認と周知
- (2) 計画の実施項目を進めていく上での関係機関・団体への周知・協力依頼
- (3) 計画書の配付等を通じた校区住民への周知

以上について、計画を推進していくために、計画の広報活動を行います。

2 計画を推進するための体制

- (1) 小地域福祉活動計画推進委員会の設置

計画を推進していくために、小石・赤崎校区小地域福祉活動計画推進委員会を設置し、計画の進行管理を行います。

- ① 関係機関・団体との連携
- ② 計画内容の具体的な実施方法
- ③ 進行管理の実施

以上について、委員会では協議を進めていきます。

- (2) 計画の進行管理

小石・赤崎校区小地域福祉活動計画推進委員会を開催します。(当年度の事業推進の確認、年度内における中間確認、次年度の事業確認など) 委員会では、PLAN (計画立案)・DO (実行)・CHECK (点検・評価)・ACT (改善) というPDCAのサイクルを回しながら、計画内の各実施項目の進捗状況を把握し、うまく進行していない場合には、その原因を明らかにし、問題への対策を立て、その対応策を実施します。

- (3) 計画の評価

計画期間の中間点では計画全体の中間見直しを、最終年度には総括評価を行います。

3 第2次計画の策定

第1次計画の推進状況を踏まえ、第2次計画の策定期間(計画第5ヶ年度)には新しく第2次計画策定委員会を設置し、計画策定に向けて協議を進めていきます。



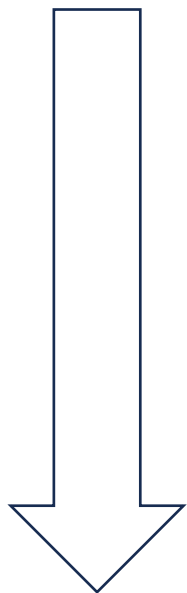
参考資料【小石・赤崎校区小地域福祉活動策定委員名簿】

	氏名	所属団体等	役職	備考
1	柿内 よし子	社会福祉協議会	会長	地区民児協会長
2	鈴木 勝	社会福祉協議会	副会長	東中 14 区自治会長
3	吉田 正彦	社会福祉協議会	前会長	
4	鹿瀬島 昌弘	社会福祉協議会	会計	
5	佐藤 敦男	社会福祉協議会	副会長	西 14 区自治会長
6	豊田 敏子	社会福祉協議会	副会長	
7	重住 進	社会福祉協議会	理事	
8	大杉 敦彦	社会福祉協議会	理事	

【策定までの経過】



- 東中 14 区、西 14 区のそれぞれの会議において、小地域福祉活動計画の策定と役員中心で進めることの説明
- 7 月開催の「地域の未来づくり講座」でグループワーク内容のまとめを確認し、体系図（案）を策定



- 東中 14 区、西 14 区の役員が集まり、
 - ・作成した体系図（案）の確認や意見を踏まえた修正例）基本理念、実施項目に防災に関する項目の追加 など
 - ・重点実施項目の設定
 - ・デザイン修正や写真に関する意見交換などに関しての話し合いを数回実施



- 2 月頃に役員間での最終案を決定。
- 3 月の東中 14 区、西 14 区の会議で参加者に最終案を配布、説明を通じて最終確認を行い、計画の策定を完了。

◎小石・赤崎校区の今後の重点となる取り組みの紹介

- ・ ウェルクラブ活動（次代を担う子どもたちの優しい心を育む）



高齢者宅訪問



障害者・車いす体験



- ・ 小石ちょうちん山笠などの地域行事へ参加促進
（住民が地域に愛着を持ち、文化などの継承を）



- ・ 各団体、学校、施設、企業などとの連携
（お互い様の協力体制から取り組みへ繋げる）

【問い合わせ先】

小石・赤崎校区社会福祉協議会

小石公民館 〒808-0005 若松区下原町7-11

TEL 093-771-5136

西14区公民館 〒808-0047 若松区中畑町16-28

TEL 093-761-1533

若松区社会福祉協議会

〒808-8510 北九州市若松区浜町一丁目1番1号 若松区役所内

TEL 093-761-3422 FAX 093-761-3660

北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 北九州市若戸畑区汐井町1番6号 ウェルとばた8階

（代 表）TEL 093-882-4401 FAX 093-882-3579

（地域福祉部）TEL 093-882-4425 FAX 093-873-1351